

当会を再生してくれたひとり

われらが副知事、凱旋



就任のごあいさつ

山形県副知事 高橋 節

平成21年度山形南高等学校同窓会東京支部総会の開催、誠におめでとうございます。

平成14年の支部再発会の際には、山形県東京事務所長として、皆さんからたくさんのご協力、ご支援をいただきました。改めて、厚く御礼申し上げます。早いもので、もう7年となります。

私は、去る2月14日に就任された吉村美栄子知事の補佐役として、副知事の大役を仰せつかり、「心の通う温かい県政の運営」、そして「全ての県民が生き生きと暮らせる活力のある県づくり」に取り組んでいるところです。

今、山形には、映画「おくりびと」のアカデミー賞受賞、NHK大河ドラマ「天地人」の放映、J1モンテディオの活躍など、全国各地から注目される追い風が吹いております。こうした流れをしっかり受け止めて、世界的にも厳しい経済環境下ではありますが、県民の様々なニーズを捉えた施策を展開し、皆さんの「ふるさと山形」の着実な発展に結び付けていきたいと考えております。それには東京同窓会の皆様のお力添えが必要です。

引き続き、吉村県政に対するご声援よろしくお願ひ申し上げます。

(山形南高18回卒)

光る旬の山形、 只今、 売出中で～す。

あったかい山形
おいしい山形
おくりびとの酒田
天地人の米沢
J1のモンテディオ

そ
し
て
山形を引っばる
女性知事！



山形南高(山形市・高)

東京同窓会報

第6号
発行人 千代田区平河町2-6-3
山形県東京事務所内
山形東京同窓会事務局
TEL. 03-5212-9026
齋藤常男
編集者 鈴木 隆



「故郷と遺伝子と」
吉野 禮三さん P.7



卒業50年を迎える、南10回卒 南天会 P.5

記念艦「三笠」前にて

南天の花咲かせ継ぐ君と我

会長のあいさつ

結束を固め、一步一步前進を！



山形南高東京同窓会

会長 齋藤 常男 (南5卒)

東京同窓会の皆さんお元気ですか！

不況の中、南高健児の「不屈の闘志」で頑張っていることと思います。

さて、本会も再結成8年目を迎えました。今後どうなるのかと懸念しつつも、決して本会の「灯」は消してはならないと、関係者一同が結束を固め、同窓会活動を促進してきました。

ようやく本会も組織基盤の整備が終わり、これからは活動基盤を整備する段階に来ております。

今後、本会の活動を一層充実強化するうえでの課題は、次のものであります。

- 1、諸会合での出席率の向上
- 2、会費納入者の増大
- 3、「やる気」のある人の発見と配置、活用
- 4、広報活動の充実
- 5、母校に対する貢献

会員が一丸となって組織運営と活動の基本をコツコツとやっておれば、本会は必ず発展すると思えます。皆さん、結束し頑張ってください！

本部山形の同窓会風景

平成21年5月15日(金) 山形南高同窓会がパレスグランデールホテルで行われ、規律正しく盛大に進行する中、熱気溢れる光景が印象的でした。



本部会長



平成20年10月の第7回総会 深い同窓の絆 われらは仲間



空はコバルト



本部長のごあいさつ

やまがたの知事さん



山形県立山形南高等学校
同窓会会長 千歳 貞治郎

小さな偶然が重なって縁となる。山形県知事吉村美栄子さんのことである。今年1月に東北初の女性知事になった吉村さんは僅か50日の選挙戦で見事に当選された。相手は2期目最強といわれた現役知事である。吉村さんは怒濤のような勢いでアツという間に寄り切ってしまった。何しろソレマデハ普通の主婦で2人の子を持つ母親であり、東大卒の弁護士和彦さんと結婚され人も羨む夫妻でしたが夫が逝去され90才の養父母の世話を1人でやり、かつては県の教育委員であった才媛である。昨年の冬は蔵王で開かれた障害者のスペシャルオリンピックの役員をされ皇族や内外の来賓の御接遇で山形にすばらしい人がいるといわれた女性である。山形西高、

お茶の水大を卒業された彼女がわが南高東京同窓会会報の創刊号に西高卒の縁で筆をとられている。以前学校再編で西高は南高に併合され西校舎と東校舎とされた兄妹の関係にあることから両校の発展を希むと記してある。彼女の実兄である鈴木隆氏は南高9回で東京同窓会役員で本誌編集責任者である。おもえば昨秋の知事候補者を決定したのは鈴木隆氏の言葉でした。いかに頭が良くても生まれ育ちが好くとも一県の知事は大任です。不安な面もありましたが、実兄が私に言った「妹はこの仕事に向いていると思います」の一言でした。実兄として責任を持った兄の言は千金の重みがあります。鈴木さんの全人格が発した一言を小生は一気に理解することが出来ました。選挙に勝った吉村さんはとても人気があり教養に溢れ容姿も立派で気取らず落ち着きがあつて情理のある素晴らしい知事さんです。そして補佐する副知事は南高18回の高橋節氏です。いろんなことから私達にゆかりのある吉村美栄子知事さんのことを誇りに思ってください。

都会の荒波の中でのオアシス ホッとする安らぎと歓び！



命輝く

母校の校長先生のごあいさつ



山形県立山形南高等学校
校長 布川 元

東京同窓会の皆様には、物心両面に亘るご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

四月に校長として着任し、始業式・入学式・応援歌練習に感動、すっかり南高生に魅せられてしまいました。母校は今春も新生280名を加え、生徒842名と教職員71名がチーム“コバルト”となって、日々「質実剛健」を目指して精神と身体を鍛え、高いレベルの「文武両道」の実現に向けて勉学と、部活動に励んでおります。その成果として、バレーボール・バドミントン・ボクシング・柔道・剣道・レスリングの6部が全国高校総体に、視聴覚・文芸・書道・新聞の4部が全国高校総合文化祭に出場しました。

さて、本校正面二階の玄関横に、大きな陶壁画があります。昭和57年、本校が改築された折に、山南同窓生・昭和十九年組の会田雄亮先生が制作寄贈してくれたものです。会田先生は壁画制作の意図をこう記しております。『老子曰く、九層の台（ウテナ）も墨土より起こり、千里の行も足下より始まる。即ち題して“立志九天”とす。』

“立志九天”にあるように、山形南高はこれからも志を高く持ち、一步一步着実に歩み、文質彬彬とした社会のリーダーを育てて参る所存でありますので、変わらぬご鞭撻をお願いいたします。

山形南高東京同窓会の益々のご発展とご隆盛を祈念申し上げ、挨拶いたします。



日本の中心地の東京。その東京の中でも、ビジネスの心臓部の丸の内ビル。ナンバーワンの気概の下に、激動と競争の中に生きた男の心境。

丸の内雑感

米屋 武志 (南9卒)

今春、東京大手町・常盤橋公園にて『桜まつり2009』というイベントが開催された。

デモ行進や箱根駅伝のスタッフ解散場所として使用されるしかなかったこの控えめな常盤橋公園が、ライトアップされて桜まつりとは洪沢栄一（銅像あり）も頬を緩めたか？

丸の内・大手町は日本を代表するビジネス街のひとつ。イベントといえば堅苦しいものばかりだったが、2002年秋の丸ビルリニューアルオープンから街の様子が変わり、今では休日でも大勢の人が押し寄せる観光の街となっている。

大家さんである三菱地所が掲げた「丸の内再構築」とはビジネスに特化した街から開かれた多様性のある街への転換だそう。因みに、昨年からは『丸の内検定』なるご当地検定も行われているのだとか。

この地に特許事務所を開いて40年余り。皇居が近く、歴史的建造物も多いがそれらでさえ一部を残し建て替えられてゆく。次々と生まれる高層ビル…、窓から観る景色も変わってきた。

私自身も仕事に明け暮れたビジネスマンから好々爺への転換を迫られている。

(米屋国際特許事務所所長)

20年度 総会出席者一覧 (敬称略) 10月18日 会場「ゆうぼうと」

二中2卒 小原 久男	南高2卒 村山 鎮雄	南高6卒 江口 光夫	南高8卒 渡辺 時彦	南高10卒 鎌倉 崇	南高26卒 悪七 秀樹
二中4卒 奥山 正博	南高2卒 吉田 文男	南高6卒 小笠原典男	南高9卒 石垣 丘志	南高10卒 倉知 晃一	南高28卒 奥山 俊一
——	南高3卒 千場 光男	南高6卒 加藤 芳男	南高9卒 小原征四朗	南高10卒 佐藤 義幸	南高28卒 松川 裕和
二高2卒 加藤 忠利	南高3卒 吉野 禮三	南高6卒 佐藤 忠雄	南高9卒 工藤 大和	南高10卒 清野 正昭	南高28卒 相馬 和弘
二高2卒 駒林 誠	南高3卒 山本 芳子	南高6卒 佐藤 寛	南高9卒 齊藤 信	南高10卒 原田 陣悦	南高29卒 三浦 範彦
二高2卒 会田 雄亮	南高3卒 藤井千代子	南高6卒 鈴木 和夫	南高9卒 清水 紀久	南高10卒 平尾 眞次	南高33卒 武田 衛
二高2卒 江口 文雄	南高4卒 浅黄 優喜	南高6卒 高橋 亨	南高9卒 鈴木 隆	南高10卒 平澤 一宏	南高37卒 酒井 靖宏
二高2卒 丹野 益男	南高4卒 鏡 清蔵	南高6卒 中村 武	南高9卒 高橋 英也	南高10卒 久連山幹彦	南高38卒 岡田 淳一
——	南高4卒 佐藤 寛治	南高6卒 林 正夫	南高9卒 滝口 武志	南高11卒 有海 豊	南高43卒 押切 孝雄
南高1卒 丹野 俊夫	南高4卒 早藤 寛治	南高6卒 益子 修	南高9卒 富木 政邦	南高11卒 富田 隆造	南高55卒 吉村 和康
南高1卒 椿 尋昭	南高4卒 松田 公	南高6卒 渡辺 滋	南高9卒 山口 健三	南高12卒 片桐 秀昭	
南高1卒 山口 正輝	南高4卒 森 寛爾	南高6卒 坂本 成子	南高9卒 米屋 武志	南高14卒 佐藤 守彦	
南高1卒 森谷 亨	南高4卒 作山登喜子	南高8卒 佐久間啓輔	南高9卒 富塚 辰雄	南高15卒 滝口 成一	
南高2卒 梅津 繁	南高5卒 斎藤 常男	南高8卒 牧野 靖信	南高10卒 尾形 昌広	南高25卒 鈴木 淳一	
南高2卒 今田 幸雄	南高5卒 藤沢 佳広	南高8卒 山田 勲	南高10卒 景沢 正由	南高25卒 村岡 登	

学校出てから50年

バレーで全国第3位 今でもOBで活躍

「君とわれここに究むわれら勝手連」

(平澤南) 一宏 山奥

平澤 一宏 (南10卒)

月に一回は、誰からとはなしに声がかかり昼食を共にする。時の話題が論じられたり、たまに「国防は如何に」で白熱をおびたと思いきやゴルフ等スポーツの話にも花を咲かす。常に勝手な自己主張をする仲間である。誰も中に入って仲裁をすることはない。

決まり事でそれに追われることを嫌らう仲間たち。毎月集まっても決して月例とは言わない。5人が常連である。このメンバーはどうした事か運動部で当時部は違っていても道場が一緒だった。柔道部・剣道部・レスリング部・たまに水泳部も加わる。各人それぞれの呼び名は学校時代のまま呼び捨てだ。

東京地区を中心に(含千葉・静岡・埼玉)勝手に好きなときに集まろうとしたのが我々のメンバー、名付けて「勝手連」。何気なく集まってから既に5年が経過している。最近は安定した年間計画を打ち出し、無難に消化している。年初に年間計画を発表し、好きな人たちが勝手に個人或いは家族連れ問わず自由に参加する。会費は当日実費負担となる。ちなみに昨年と今年の年間計画を紹介したい。

平成20年、3月早春ゴルフ親睦会・4月観桜芋煮会・6月読売新聞社見学と皇居内苑散策・9月記念艦三笠&日産自動車追浜工場見学・12月忘年会。
平成21年、5月ゴルフ親睦会・6月航空自衛隊入間基地見学会・8月麒麟ビール工場見学会・12月忘年会

参加者は平均して25人前後である。既に一線を退いた者がほとんどで、年に2~3回は旧友たちと会って普段訪れる事のないところで意見交換するのも、ボケ防止も含め活力を得るいいチャンスとも言える。過去に山歩きを実行した事がある。登りは元気よかったが、やはり下山が苦手のように膝痛を訴える人が多かった。下山したところでゆっくり温泉につかり、ビールで喉を潤し山の疲れをすっかり流し各人家路に着いたのも思い出のひとつまである。

これから更に年をとっていくにつれ、各人頑固性が強くなり更に勝手連の強さが発揮されてくるのではないだろうか。

山南高東京同窓会の益々の発展を望むものであるが、こういった頑固極まりない勝手仲間が大勢で押しかけてはいささか迷惑かと心苦しい思いである。

南高卒業 半世紀を経て

菅沼 祐一 (南9卒)

先日第45回衆議院選挙が行われ自民党が歴史的な大敗をし戦後初めてとなる民主党への政権交代となった。

高校卒業時の総理大臣は岸信介、以来14人目の総理大臣、それも自民党以外から初めての鳩山民主体制の誕生である。ある意味で日本も変わりつつあるのかなと思わなければならない。

卒業2年後、昭和36年「貧乏人は麦メシを食え」と所得倍増政策を唱えて勝利した池田首相へと変わった。そして日本の繁栄が始まったと思っている。大学卒業後は、この繁栄の始まりで就職した。若かった事もあったのだろう、仕事は勿論、遊びも楽しく、今考えると収入は、現在若者の初任給の10分の1以下にも拘わらず毎日が充実していたと思っている。

昭和39年、東京オリンピックには、バレーボール競技の線審委員として参加できた。

南高バレー部背番号10番で卒業し、そこそこバレーでもオリンピックという大きな舞台の中に立てたのは今思うと不思議な気がする。

当時上山から東京に戻るとき、大宮を過ぎ東京方面の空を車窓から眺めると一面鉛色。これが繁栄の象徴だったのかも知れない。

今はその頃と比べ空も非常に綺麗になった。老後の生活にはこの綺麗な空が一番似合うのでは、と思ったりする。

その時々で新しい友が生まれた。しかし南高9回卒業の諸君は今でも友である。不思議である。難しい話でも、バカな話でも何でも受け入れる、そして今でも不変である。

友よ! 残りの人生を大いに楽しもうではないか。

花笠まつりの経済効果は116億円!

山形銀行の発表によると、今年の花笠まつり3日間の観光客は92万人で消費支出額は161億円であるという。これを基に経済波及効果を計算すると116億円にのぼるといふ。恩恵を受けたのは駐車場19億円、飲食店13億円、個人サービス10億円等で104部門が開催のメリットを享受しているという。

(山形新聞より)

私の海外体験

黄色い大地・アフリカ
タンザニア探訪記パートI

小原 征四郎 (南9卒)

今年の5月頃一緒にタンザニアに行かないかと突然誘われ、タンザニアってアフリカの？そうだと。行った事あるのと問うといや今度初めて行く…会話の主は同期金森現体協会長と小生。鈴木隆氏の妹さんは山形県を左右する要職についたばかり。車中の中の会話。時期は新年早々改めて金森氏から名刺を貰いそれには友好協会会長と肩書き納得した次第。

5月19日から28日、10日間の旅行“野生の神秘を肌で感じるタンザニア世界遺産友好を深める旅”出発。鈴木氏は仕事の調整がつかず残念乍ら不参加に、参加者は11名でした。小生については羽田から関空とアクシデントに遭遇、原稿の割り当てオーバーになりますので今回はカットします。関空からドーハ経由タンザニアダラエスサラームそしてキリマンジャロ着延々20時間のフライト。ダラエスサラームで入国手続きし、何とVIP室へ案内されキリマンジャロへの便の待ち時間をゆったりとくつろげました。機中キリマンジャロの雄姿は夕日に輝いていたとの事。小生は残念乍らウトウト寝てしまい後で悔しい思いをした。セレナ市内マウンテン・ビレッジというロッジ泊まり、コテージはハネムーン用かなと思う程きれいで上品な造り。イメージと違いこれからの旅を安心して過ごせるぞと確信、翌朝7時チェックアウト、セレンゲテを目指す。途中バスの横転事故の現場を通りかかる、見渡せば人家なんか無い大サバナにもかかわらず、どうやって歩いてきたのか原住民の人ばかり。再び途中下車赤バナナを買い求める。初物で市場には出回れない程の生産量で少ない為貴重、ようやくンゴロンゴロのゲートをくぐり保護区へ到着ひたすらセレンゲテを目指す。いよいよサファリ開始。(次号につづく)

ーコメントー

締切間際に千歳会長の挨拶文を拝見してびっくり。私の事に触れておられるので、僭越ながら少し書かせていただきます。

凡人が及びもつかぬ偉大な観察力、洞察力、勇気と行動力を持ち、加えて熱い気配りと文章への深い造詣を持っておられる先輩ですので私に対する過分なお言葉には恐縮いたします。

私が帰省の折は、妹と一晚中話をしますが、世間話は抜きで、教育や詩文、文明の議論をしますが、妹はとても負けず嫌いの勉強家で、今回は必ず体勢を立て直してきます。知事は人間の大きさや行政手腕、予算執行の能力だけでなく、強い意志、果敢な実行力、圧倒的な情熱、反対者の説得、全体を調整してまとめる能力だけでなく、

クラリнда、パートII

奥山 俊一 (南28卒)

クラリндаは、クリーンなイメージの魅力あふれる友好的な町です。治安が非常に良く、住みやすい所なのですが、町外れに刑務所がありました。ここだけの話ですが、実は刑務所にお世話になった事があります。(それも2度も、以下をお読みください。)

この町では有志一同がソフトボールのチームを作り、仕事が終わった後仲間と一緒に試合をすることが楽しみの一つでした。アメリカではサマータイム(4~9月頃まで)が導入されており、夜の9時頃でもまだ明るいためゲームを充分楽しむことが出来ました。確か10チームぐらいの総当り戦だったと思いますが、このチームの中に刑務所チーム(囚人で構成されている)も参戦しておりました。そう言う訳で彼らと試合をするときは刑務所に入らなければならなかったのです。試合前に守衛所で入念な検査(ボディチェック・持ち物チェック等)があり、注意事項の説明を聞きその後承諾のサイン及び拇印をして、いざグラウンドに乗り込んだ訳です。グラウンドの周りもフェンスに囲まれており、試合をする囚人たち以外は中へ入れないようにってはいましたが、フェンス越しに彼らの異様な視線を感じ、罵声を浴びながらまさに完全アウェーの試合でした。

看守に見守られての試合でしたが、囚人たちのパワー・チームワークには歯が立たず散々な結果でした。もちろん囚人チームがリーグ断トツで優勝したのでした。後で聞いたのですが彼らは毎年トップレベルの成績だそうです。それもそのはず、練習時間はたっぷりあるのですから。

日本では、考えられない体験をしました。まさにアメリカのおおらかさを感じました。

(クラリндаはアメリカ合衆国のほぼ中央部に位置し、アイオワ州です。)

サッチャー首相の如き胆力が必要と考えます。日本で言えば土井たか子氏でしょうか。そういう意味で“県知事に向いているのでは”と申し上げました。

次にどんな家系か、について少し触れてみます。山奥の普通の農家ですが、妹を産む下地はあります。父は村では有名な働き者で、他人の3倍は肉体的に働き、60年で一度も病欠もなく、気も強く、山形連隊の何かの大会で優勝し、勲七等の表彰状もあります。祖父の兄は村の有力者で村会議長で20年以上村を仕切っていました。江戸時代に槍の名人“静エ門”がいたそうですが、詳しくは知りません。母方では明治初期、鉄砲打ちで熊狩りの名人“二俣の文三”がいて、少年時講談本を読んで感動しました。父の言葉は“日本一になれ”でそれが心の根底で影響していると思います。 鈴木 隆

故郷を語る

故郷と遺伝子と

吉野 禮三 (南3卒)

3年前の秋、東京国立博物館で開催された「仏像展 一本に込められた祈り」で、山形市の宝積寺所蔵の十一面観音菩薩立像を拝観した。今から1200年前、奈良時代の作品とのことで、法隆寺建立からわずか200年しか経っていない。

佐倉市の国立歴史民俗博物館の第一展示室へのプロローグに、秋深い落葉広葉樹林を背景に“縄文のビーナス”(写真1頁)といわれている土偶が一人台座の上に佇んでいる。さあこれから皆さんを旧石器時代から縄文の世界へご案内しますよと誘っているようである。これは最上郡舟形町の最上川段丘から出土した西の前遺跡の土偶である。高さが45センチで日本の土偶の中で最大である。「繊細でかつたくましく、誇り高い東北縄文女性を象徴するようで、線の美しさや安定感は縄文造形の逸品といえる」(木村茂文著“最上川と羽州浜街道”より) 故岡本太郎がこのビーナスを見たらこれは“縄文文化爛熟期の最高傑作だ”と驚き激賞したに違いない。このビーナスは今から4500年前の縄文中期の所産といわれている。

さらに遡り、わが故郷には未開発の2、3万年前の旧石器時代の遺跡が80箇所近く確認されており開発を待っているといわれる。

実に楽しみである。昨年、江戸博物館で開催中の「発掘された遺跡-2008年」には「太郎水野2遺跡」が“旧石器時代のキャンプ・サイトだった?”と紹介されている。

わが故郷はなんとすばらしい歴史を最上川の段丘に刻んできたことだろう。縄文文化は「日本の深層」だといったのは梅原猛であるが、故郷を離れて暮らしていても、この地に生を受けたことを誇りに思っている。帰省のたびごとに、南高時代の友人に無理をいって山形の歴史、風土そして地理を少しでも目に焼き付けたいと「寺律の水駅」「梨の木平縄文の森」などを訪ねた。柿の実が色づく頃には、自転車を借りて、高島の「県立うきたむ風土記の丘考古資料館」や周辺の遺跡を探訪してみようかと思っている。置賜といえば「草木塔」も訪ねてみたい。「生活のために伐採した植物の鎮魂」とか「木流し衆の安全祈願」のために建てられたといわれるが、それこそ縄文人の自然や仲間に対する優しさであり、エコロジーの深層にふれるものではなからうか。



江戸を語る

江戸歴史探訪

富木 政邦 (南9卒)

健康維持、及江戸文化歴史(江戸歴史検定一級認定)の雑学知識習得の為、歩いている。東京在住50年になりながら、江戸(東京)の歴史、史跡等を知らずにいたこともあり、少々興味をもって歩くと、身近に結構史跡があることにきずかされる。先般、品川、港区方面の探訪をしたので、豆知識として2,3紹介します。

- *大森貝塚-アメリカのモース博士が発見、発掘明治10年。ここで発見された土器のことを英訳した文言が縄文土器と訳され縄文時代(約1万年間、後の弥生時代は約2千年)と呼ばれるようになり、以後定着した。大森駅より約10分。
- *東海寺-沢庵和尚が紫衣事件により山形上山へ配流、赦免後、家光により江戸に留め置く為、寺というより住まいとして与えた。(臨濟宗、大徳寺派)新馬場駅近く。
- *愛宕神社-家康が江戸の防災、防火の守り神として創建。家光が愛宕山の梅の花を所望した折、急勾配の石段(86段)を曲平九郎(寛永三馬術家)が馬で上り下りしてとってきた話は有名だが、現地にいってみると信じがたい思いである。しかし、大正時代にNHK初の生中継で岩木利夫という人も成功している由。いろいろなエピソードに出会えるので、今後も史跡探訪と称し、歩きたいと思っています。

なんとかクリアした、日照不足と長雨!

梅雨明け宣言がなかった今年の県内野菜は、大変心配されていたが、なんとか出荷量に大きな落ち込みはなく、ほぼ順調だったことがJA全農山形の発表でわかった。これは生産者が危機感を抱き、こまめに消毒を行い、作物管理に気を使ったからと言う。主にキュウリ、ナス、枝豆の出荷量は例年の90%程度であるという。(山形新聞より)

東京の南高同窓会は、回を重ねるごとに安定感が増し、会報は鈴木編集長のなみなみならぬご尽力でここに第6号を刊行することができた。また小松栄三郎氏と滝口成一氏の共同作業で、念願のホームページも開き、二年を経た。山形をともに故郷とするものが「たかきロマンとひとのまこと」(芳賀先生作詞“われら愛す”の一節)を長く歌い上げていくためにメディアの果たすべき役割に今後も期待したい。

(原稿は去年の提出でしたが、別のを採用したので、今時となりました。)

空はコバルト 元気でやってまーす

「高原でのゴルフコンペ」

浅黄 優喜 (南4卒)

我々二九会(4回卒)の夏期の風物詩として定着しているゴルフコンペを紹介したいと思います。さかのぼる事、平成6年7月に日光国立公園内の標高1,200メートルの高原リゾートコースである“きぬがわ高原カントリークラブ”に山形地区、仙台地区と関東地区より同期の仲間達が集いプレーをしたのが始まりである。以来、毎年この地に7月の梅雨明けの時期にゴルフコース敷地内のロッジに一泊し、二日間プレーを楽しんでいる仲間である。

今年も回数を重ねて、綿々ととぎれる事なく継続し目出度く16回を迎え7月28・29日に10名の参加者で開催しました。

プレー後、温泉に浴し、夕方よりロッジにてお楽しみの時間制限無しの酒宴で山形、仙台産の美味しいお酒を痛飲し、一年ぶりの再会でどんなことでも話せ、何物にも代え難い至福の時間である。夫人同伴歓迎で毎回参加される方もあり、それぞれ同期の絆を一層強めております。

残念なことは、近年鬼籍に入られる方もあり、又体調を崩される諸兄も多くなり、どうしても参加者が少なくなりつつある事が悩みです。

お互いそれぞれ健康に留意し、元気で動ける内は継続しようと誓い合っている昨今です。



●『われらの歩み』

華九会である昭和34年卒(南9回卒)の卒業50周年記念誌。山形支部と関東支部の合同作品で、内容は各個人の回想文と在学時の部活、特に全盛を極めたスポーツ関係の記録と写真が収められている。元気の出る本。11月に上梓。

A4版 130ページ

高校時代

小原 宏夫 (南3卒)

私は、兄弟6人、内、本校卒業は、長男(2中卒)私、妹、5番目の弟(征四郎)以上です。

私は、昭和28年卒業ですので、半世紀を越えましたが、当時を思い出すと、一番目は、男女共学だったこと。最初で最後の学年でなかったのかと記憶します。上級生からは、羨望のまなこで見られました。西高への入学生と半数ずつが、南と西に分かれ(東高と北高も同じ状況)部活もそれぞれ両校交流がありました。私は、末広町の西高校舎の講堂で、西高生が見守る中で、学芸会のメンバーだったことは忘れられない淡い一コマです。

部活は、入学時、野球部へ入部しましたが、中学は東郡長崎中学でしたので、山形市内の同期とは、レベルの差を実感している矢先にバスケット部に誘われ、きつい一からのスタートを決断、文武両立ができなかったと現在反省しきりです。

3年の夏、野球部は、創立以来、初の甲子園出場を果たす快挙を成し遂げました。

私の3年間は、南高一回生から五回生までの同窓生が、文・武に南高魂でもって、開花させたと思っています。

(山形市在住 この寄稿で兄妹弟四人全員掲載となります。)

校友の出版本の紹介

青春時代

そして、今

戦中、戦後



●『山形南高昭和19年組 喜寿記念誌』

南高の前身である二高時代で終戦をまたいで貴重な体験を積んだ大先輩の記録文で、参加人数約90名、ページ数450枚に及び茫大なもの。責任を果たした千歳・真壁両氏の力量が感じられる本。重厚な感動を受け、熟成された味が伝わる。

A4版 450ページ

提供者 中村公雄氏

イン東京



早藤 寛治 (南4卒)

時々、会社で定年を迎えた人から挨拶状が送られてくる。文面はほとんどが「在職中に寄せられた御厚情に対しまして厚く御礼申し上げる」と書いてある。私は東大卒ではなく中大卒であるが、現役中には常に前向きな姿勢でやってきたつもりである。

役所の中にはキャリアといわれる人が大勢働いている。しかし、この中には弁舌の裁きも程々であり、拝聴に及んでは中身が不可解という場合が多々ある。従って局長以上の高官に、この世の流れは少しおかしいのではないかと云っても、各省庁の大部分の人はそれで良いのだと云っている。

しかし、今このような現象はおかしいのでキャリア制度は廃止されるようであるが、全く的を得ているという感じである。真面目に働いている人間にとっては非常に明るいニュースである。

(瑞寶雙光章受賞)



七十四歳の二つの願い

森 寛爾 (南4卒)

◎早朝の「ウォーキング&ジョギング」

清々しい空気・ひんやりとした風・小鳥達のさえずり・白鷺の飛び交う羽音・川蝉のダイビング・朝陽に輝く霊峰富士の姿・いつもの挨拶仲間の「お早う！」の声・・・田んぼ・畑・小川・沼のある横浜舞岡自然公園に毎朝九十分の歩き&走りが一日の始まり日課である。こんなに素晴らしい贅沢な幸せをいつまでも何時までも保てる事を！！

◎月／二〜三回の「ゴルフ」

二十年以上になるゴルフ仲間とのプレー、以前は「タテ」ストローク至上主義一打一打に又飛距離に一喜一憂の時代を経て今では、「スコア」はあまり気にしない。グリーン上「オリンピック」の競い合いを楽しんでいる。長〜いロングパットが入る「金」だ！あの高ぶり ついガッツポーズをしてしまう。ましてや、たまたま偶然グリーン外からのチップイン「ダイヤモンド」だ〜！と歓喜の叫びと興奮、反面短い「鉄」をはずす「くず鉄」だ！複雑な悔しさと落胆・・・まるで少年時代の無邪気さが自然に出てくる瞬間だ。「オリンピック」参加資格はボギー以内である。

幸いゴルフ場が自宅から車で三十分以内である。この気の合うゴルフの友六名が一人も欠ける事無くいつまでも何時までも継続できる事を！！

卒業50年



地域社会とともに

鎌倉 崇 (南10卒)

私が30歳で独立して設計事務所を設立し、昭和45年以来、引越が嫌いな私はずうーとこの地横浜本牧地区で現在に至っている。もう南校を卒業して50年になるとか…早いですね、

この地に住み、暮らし、仕事をしているんな人との出会いで現在町内会長をおおせつかって5年になるが、会長になる時、妻が猛反対、子供達に説得されどうやら現在に至る。山形産の私が今こうしていただけるのも古里、山形の教育が人間形成を育ててくれたと思って、感謝をしている次第です。この本牧地区は神社祭礼が無形文化財として室町時代から伝わり今年で444年を迎え、伝統と歴史を大事にしている地区です。まさに古き良きまちをのぞかせてくれます。町内会では、まちづくり協議会を設立し、又、この本牧地区は連合町内会での元気づくりまちづくり会として行政と協働でまちの活性化に取り組んでいます。

まちを再発見しようと菜園づくり、湧水ビオトープ、お祭り、大運動会、盆踊り大会、防災まちづくり組織、商店街縁日などまち歩き探検隊を結成し、まちを見直し、自慢できるまちに子供達に未来のあるまちに継承してゆこうと励んでいます。

もう私は山形から出てきてこの地を抜け出せずーたぶん生涯の地となるだろう。山形バンザイ。南校バンザイ！



夫婦そろって長生きを

久連山 幹彦 (南10卒)

二年前妻に病魔で先立たれ、寂びしさを紛わす意味も有って、現在も会社勤め(46年間)をしながら家庭の主夫業もやっています。

生前は亭主関白で好き勝手なことをやってきましたが、一人だけの生活になると月並みな言葉ですが、「妻がおっての自分だったな」と身にしみています。

分別ごみを始め近所付き合い、コミュニティの活動等、何をとっても集団活動で一人では出来ません。

皆様には、ご夫婦揃って健康で長生きして欲しいものだと願っています。

🍓 ひじおり(肘折)温泉に青春が甦る!

奥山 專逸 (南6卒)

県人会の関係で「湯の里ひじおり」のドキュメンタリー映画を見る機会がありました。60年前訪ねた湯治場の雰囲気がそのまま残っており、上山出身の飯塚プロデューサーによると、東北芸術工科大学と産学協同で肘折温泉全体を美術館に…とのアイデアが第一夢だったようです。全て地元の人々が出演し、肘折小中学校の廃校経過を1年間かけて撮影し、喜びあり、涙ありで語り継ぎたい日本文化を見つめ直す映画でした。肘折小中学校閉校の日に、帰省した卒業生たちが数十年振りでプラスバンドを結成し、若い力で温泉の再生を誓うのでした。少子化やライフスタイルの変化の荒波に耐え、守り抜かれた湯治文化を地域の誇りとして蘇った感動の映画です。

🍓 母を思う

滝口 成一 (南15卒)

「長生きしてごめんネ」高齢者の方々がクチにする言葉、思いだと言う。

思い返せば、痛で入退院を繰り返す父、苦しむだけだからともう延命処置はしないと心に決めて「迫る死の足音知らず、夫は椅子に乗りて喜び騒ぐ」「時間よ止まれと叫びつつ、祈る心のむなしさよ」そして死に際し「亡き夫の面影偲び涙する、込み上げる胸の痛み涙、誰に告げん心の痛みを、ああ心も老いたし我が身かな」と切なる思いを詠んだ母は、卒寿を過ぎ床に伏せている。

リタイヤ後の輝く? 第二の人生を夢見た私だをご多分に漏れず、今は「先が見えない介護への不安、余りにギャップが大きい母への思いと困惑」それらを抱えながら、介護に明け暮れている。

介護とはどうあるべきか? と自問自答している自分があり、実際に経験した者にしか真の介護は見出せず、他人には理解出来ないものとも思う。翻って、介護をする年齢になった数多くの同窓生もおられるはず。避けて通れない介護についても皆さんと話す事が出来る機会が持てれば幸いであり、これもまた一つの同窓会の姿ではないだろうか?

母の生きた過去を思いやりながら、心おきなく寿命をまっとう出来ることを祈り、親友からの「後悔してもいい、一生懸命やったと思えるならば」と、「頑張って!と言わないで、皆、頑張っているのだから」と言っていた今は亡き某女優の言葉を胸に、やがて来る? 我が「第三の人生?」に栄光あれ!

(外資コンピューター会社退職 柏市在住)

🍓 雪の思い出

清野 正昭 (南10卒)

山形を表す言葉はいろいろありますが、「雪国」というのも代表的なひとつです。冬新幹線が板谷峠にかかり、車窓に雪景色が広がってくるといつも「さあ山形へ帰ってきたぞ」という気分になります。

山形で過ごした18年間の雪にかかわるさまざまな思い出は、今でも私の胸の奥深く沁み込んでおります。

あの冷たかった雪が追憶のなかでは何故か暖かいのです。愚作ではありますが、これは今年私が雪をテーマに作った俳句です。

わが見栄と 較べる雪の 深さかな

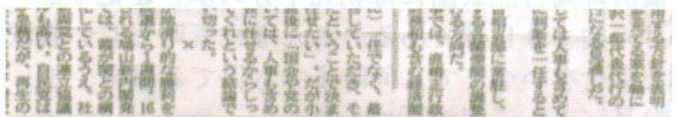
十七の 文字より 軽し 屋根の雪

寄添えば 割込んでくる 名残雪

種痘痕 残す世代の 雪見風呂

昨今は温暖化の影響か、関東での雪景色はなかなか見られなくなりましたが、これからも帰省や旅行などの機会をとらえ、雪にかかわる俳句を楽しみたいと考えております。

🍓 もう一つの山形、発見!



夜の商店街に熱気が満ちた「みちのく阿波おどり2009」

9月5日の「みちのく阿波おどり山形」

(山形新聞より)

近況報告



「展示会と仲間達」

石川 正弘 (南6卒)

光風会会員で日展に連続入選している横尾正夫画伯出品の光風会展が4月に国立新美術館であり、六回生有志10名が集まりました。

毎年2回、4月の光風会展と、11月の日展に15名のメンバーで鑑賞会と親睦会を兼ね会合を続けて20年近くなります。

去る6月に仲間の一人が病気で亡くなり寂しい思いをしております。これからも、会うたびに元気を貰っている同期生の仲間とのふれ合いを大切に人生を送りたいと考えております。

(足立区在住)

● 「六南会」活動状況

20年11月：日展鑑賞会 (六回生出品)

21年1月：決算役員会

21年4月：「光風会」・「国会会」展鑑賞会。(六回生出品)

21年4月：山形「六日会」総会・懇親会

増子・江口・渡辺3名。出席。

21年5月：関東地区「六南会」総会・懇親会開催。

毎年恒例の「六南会」総会・懇親会を5月16日土曜日、戸田市内の寿司店で開催、六日会より五十嵐会長と山田常任幹事のご出席があり賑やかに尽きることなく懇談が続いた。病気・孫・旅行・ボランティア・検定試験の話は、悠々自適の人達が。会社経営の仲間は、厳しい景気や経済環境の話題など苦労話が続く。

同級生の高木酒造の「14代」のお酒を堪能し、カラオケを楽しむ。再開を約して無事終了。

21年8月：役員会

21年9月：六日会「秋の懇親・芋煮会」増子会長出席。他にゴルフ会会員有志で年に8回ぐらい実施。

(年とともにゴルフ引退が増えた) 江口 光夫

■六南会立ち上げ以来、会計幹事として銀行マンの経験を生かして貢献してくれた阿部敏氏が6月末急逝、心からご冥福をお祈り申し上げます。



● 華九会の年間活動状況

石垣 丘志 (南9卒)

我々華九会は常時活発に活動している。一土会は12月の忘年会、7月の会合をきちんとこなす。あけび会は1年間で5回のゴルフ大会をやり、常時15名前後集まり愉快にやっているが、その内の冬の大会はグアム島における南国情緒満喫の国際大会である。今年は高校卒業50年なので諸行事打ち合わせのため、「渋谷50」をつくり、毎月会合を開いた。まだまだ元気旺盛である。

故郷山形の店 銀座にオープン



主催者は山形県
山形県知事
吉村美栄子さん

「東京アンテナショップ」が銀座に移転し、4月30日オープンしました。この県営店は山形と首都東京を結ぶ重要な情報アンテナですので、南高OBの皆様もよろしくご協力を。新知事の英断により課題を乗り越えてオープンしたショップは、大変な盛況を続けております。(初日は2千人)山形の産品を愛し、山形を育て、山形を応援しましょう。



● 南高第三回卒の同期会の近況

「大東亜戦争」の最中に育った私達は、戦時体制に組みこまれ「国民学校」の最初の一年生となり5年生の時に終戦。新制中学校が発足し最初の一年生となり、旧制中学校は旧制女学校と合併し、私達は最初の一年生となった。南高に入学しても、1年間は男女共学で二つの校舎に振り分けられた。

同期会の名称は、「二八会・ふたば会」

後期高齢者に分類されても、「幹事会」という名の懇親会を、新宿の山小屋風の居酒屋で数カ月毎に開催、年一回の総会の実態は「旅行会」で、昨年末は下部温泉から身延山へ。やはり温泉に限る。宴会担当幹事が実力を発揮する。不思議にいつも男女半々である。会長は置かず、諸経費はすべて出席者が賄う。年会費など徴収しない。参加者は15名前後でいずれも常連さん。こうして56年以上続いてきた。常連の名前を書く予定だったが紙面が尽き残念である。(世話人 吉野、山本)

山形の衆議院選挙、民主党の勝利に終わる

第1区 当選 鹿野道彦 民元 106,202票
遠藤利明 自前 104,911票

Portrait grid for candidates in the 1st district, including 鹿野道彦, 近藤洋介, 加藤紘一, 和嶋未希, 遠藤利明, 吉泉秀男.

母校の更なる発展のために

山形南高等学校 教頭 阿部 康雄

南高23回卒(野球部)の阿部と申します。今年4月から再び母校で勤務できますことを心より光栄に存じております。

同窓生諸氏の母校に対する熱い思いと物心両面に亘るご支援に応えるため、本校の更なる発展を目指して力を尽くしていく所存です。

東京同窓会役員 (平成21年7月現在)

Table listing Tokyo Alumni Association officers: 会長 齋藤 常男, 副会長 江口 光夫, 常任幹事 鈴木 隆, etc.

東京同窓会 学年幹事

Table listing Tokyo Alumni Association year officers: 二中1卒 庄司 政美, 南高3卒 藤井千代子, 南高9卒 石垣 丘志, etc.

編集後記

温和しいと言われる山形人の中にも、爆発する人間が少しはいる。1月の妹の選挙で私が痛切に感じたことである。今年外国にも行かず、豊かすぎて楽しすぎる社会で暮らしたので、歳もととり、他人に感謝できるようになった。

母校だより

「BACK TO THE 南高」

同窓会事務局長 木村 元昭 (南26卒)

最近、遠方より同窓会室を訪れ、南高ギャラリーを見学される同窓生が多くなった。その際は事務員の柳谷さんや私が案内するのだが、一様に懐かしさを顔に出し、南高在学時代の思い出を語っていかれる。記念講堂の傍らの芳賀秀次郎先生の歌碑を御覧になると感激なされる。先日は在学時代の生徒会誌を読み、感慨にひたられている先輩も居られた。

山形に帰形の際はぜひ母校を訪ねてみてください。南高時代にタイムスリップできますよ。

「結束力」

生徒会長 佐藤 広一郎

南高生の素晴らしいところは、“結束力”だと思います。南高生は、1人1人がとても大きな力を持っています。その大きな力を集結することによって、更なる大きな力を生み出しています。これこそがチーム南高が全国的に活躍しています。活躍している原動力だと思います。

これまで先輩方が築いてくださった数々の伝統を受け継ぎ、文武両道の校是のもと、すばらしい仲間と切磋琢磨し合ったことは、何にも変えることのできない価値あるものだと思います。これからも、南高の飛躍を目指し努力していきます。



平成20年度 収支決算書(案)

<収 入>

項 目	予算額	決算額	増減
総 会 費	850,000	660,000	△190,000
年 会 費	800,000	599,840	△200,160
寄 付 金	60,000	70,000	10,000
繰 越 金	1,055,948	1,055,948	0
繰 入 金	0	0	0
広 告 協 賛	120,000	120,000	0
雑 収 入	0	1,769	1,769
合 計	2,885,948	2,507,557	△378,391

<支 出>

項 目	予算額	決算額	増減
会 場 使 用 料	30,000	29,453	△547
懇 親 会 経 費	750,000	554,107	△195,893
会 議 費	250,000	132,625	△117,375
総 会 案 内 経 費	300,000	223,188	△76,812
議 案 書 印 刷 経 費	200,000	171,675	△28,325
事 務 費	100,000	90,959	△9,041
東 京 同 窓 会 会 報	200,000	200,000	0
ホ ー ム ペ ー ジ 製 作 費	100,000	13,480	△86,520
特 別 積 立 金	600,000	0	△600,000
活 動 費	100,000	70,000	△30,000
予 備 費	255,948	0	△255,948
合 計	2,885,948	1,485,487	△1,400,461

収入総額-支出総額=差引
2,507,557円-1,485,487円=1,022,070円



「友と共に在り。」

視聴覚委員会 部長 3年 長谷川 達也

視聴覚委員会…最初は一体何をする部活なのか分からぬまま入部したあの時から早二年半。新入生歓迎会で自分達が見た素晴らしい生徒会ビデオ、先輩が徹夜して仕上げた大会作品。それを超えられるように、先輩方の教えを乞い、切磋琢磨してきました。そして集大成となる大会では、全国高総文祭出場、NHK全国放送コンテスト出場という名誉ある功績を残すことが出来ました。このような素晴らしい功績を残せたのも、先輩や撮影に協力して頂いた皆様のおかげでもあり、そしてなんとと言っても共に制作にあたった信頼出来る仲間達が居たからこそ成し遂げられたのだと思います。部員みんな、こんな部長について来てくれて、本当にありがとう！残りの高校生活、この漢の花園で忘れられない最高の時間を南高のみんなと過ごしていきたいです！

「おくりびと」のシネマで湧く山形に、第2弾の大賞がとびこみ県民に歓喜を与えている。カナダの第33回モントリオール世界映画祭で、山形市の東北芸工大教授の根岸吉太郎教授が監督を勤める「ヴィヨンの妻」で、根岸氏が「映画監督賞」を受賞したからだ。根岸氏は今年4月より同大の映像学科長に就任している。この受賞で10月8日～15日開催される「山形国際ドキュメンタリー映画祭」が一層盛り上がるものと期待される。

弔事のお知らせ (山形のみまで記載)

御故者(敬称略) ご冥福をお祈り申し上げます。

旧職員

21年 5/27 高 橋 元 一 先生(国語)(S.3.4~11.3)

同窓会員

19年 6/ 田中 晃(南12回) 20年 / 押野 昭(南5回)	20年 1/ 9 結城 了(南19回) 21年 1/21 竹俣慎一郎(南17回)
1/23 福原 良一(南21回)	1/23 鈴木 景一(南7回)
2/ 5 佐藤 恵子(南9回)	1/28 星川 光哉(二高2回)
2/ 7 古瀬 和弘(南25回)	2/17 浅野 兼男(南2回)
3/18 荒井 和彦(南11回)	2/ 吉田 貫一(南3回)
5/16 花屋 幸克(二中2回)	3/ 1 若居 宏(南2回)
5/ 松沢 嘉昭(南10回)	3/ 8 奥山 尊四郎(南1回)
7/17 船山 忠勇(南8回)	4/23 渡辺 修孝(南18回)
9/15 斎藤 英一(二中2回)	4/28 菅井 律夫(南9回)
9/19 武田 寛治(南3回)	4/29 石沢 好美(二中4回)
9/30 木村 忠示(南9回)	5/ 2 庄司 誠喜(南3回)
10/ 4 三浦 隆(南25回)	5/16 小林 茂(南22回)
10/ 5 川村 淳(南27回)	6/04 庄司 吉弥(南2回)
10/16 伊藤 勝弥(南9回)	6/16 大澤 保昭(二高2回)
10/17 伊藤 正巳(南2回)	6/23 大場 克彦(南9回)
10/25 佐藤 孝(南7回)	6/ 伊藤 敏美(南1回)
11/ 9 五十嵐 昭夫(南1回)	6/ 大内 俊雄(南2回)
11/22 小野 幸勇(南4回)	7/20 斉藤 弘伸(南17回)
11/27 清水 英男(二中2回)	7/24 笹原 弘己(南14回)
12/ 1 秋保 英樹(南11回)	8/ 9 鹿野 勝幸(南10回)
12/15 大場 瑞彦(南11回)	8/23 鈴木 政雄(二中1回)
12/24 長谷川 恵三(二高2回)	8/25 佐川 恒男(南2回)
12/27 渋谷 正昭(二高2回)	

華九会の記念誌発行と記念事業

記念誌『われらの歩み』



卒業50周年記念事業
関東地区実行委員長

小原 征四郎 (南9卒)

卒業50周年記念事業を我等同期気合い込めて、是非にとの思いにかられてから早や3年。ようやく今秋10月に開催する事が目前に迫って参りました。6回生、先輩方達には足元にも及びませんが、我等の力を結集して努力したので、これ以上はとの出来映えになるようです。記念誌の題名は「われらの歩み」に決まり、蔵王にて開催される祝賀会会場にて出席者全員の記念写真を掲載してから各々に送付される段取りになっています。在校時の各クラスの担任教師・生徒達氏名は1・2学年は正式に記録がありますが、どうした事か一番大事な3学年在校時の記録が学校にも我等にも持っている者がいないという信じられない事が判明しました。山形にある同期会事務局にて記憶をたどり又母校へ問い合わせたりとようやく各クラスの担任教師・生徒の氏名が確認出来ました。皆卒業証書は待っています。記念誌の内容は原稿提出60名程それに卒業時の記念の写真・50年経過した顔写真。在校時の華々しく活躍したスポーツ、文化部の当時の写真・そして我等マドンナは各クラスに2～3名しかいませんでした。が、関東地区に住んでおられる御婦人に原稿依頼しましたがうまくいかず、鈴木氏と共に御婦人方と山形アンテナショップ近くでお茶をしながら座談会と称してのお話を伺い原稿をまとめた次第です。これまで祝賀会・募金・記念誌・庶務会計と各事業部にて力を合わせ、月一回欠かさず各部会責任者が集まりミーティングをと称して一杯やり乍ら、がんばりました。ちなみに「渋谷50」が会の名前。いつも集合地を渋谷駅周辺にしました関係です。卒業時330余名、現在240名程各地で生活しています。不参加の方も時々は同期生を想い出して下さい。東京同窓会にも参加して下さい。華九会50年、同窓の皆様を支えられ感謝していますが、後輩諸君も続けて記念誌を出されるよう祈ってます。

スポーツの向上に挑む

山形ドリームキッズ構想の始動について



山形県スポーツタレント
発掘事業実行委員会 会長
(財)山形県体育協会 会長

金森 義弘

日頃より山形南校東京同窓会の皆様には、昨年の埼玉インターハイを始め都内での高校スポーツ大会の際、大変なご声援をいただき厚く御礼を申し上げますと共に、貴重な誌面を与您にいただき感謝しております。今回は8月5日山形で開催された山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会について記したいと思います。目的は山形県からオリンピックや世界選手権などの国際舞台で活躍できる選手の輩出を目指し、本県のスポーツ界をあげて取り組もうとする事業で、北京オリンピックでは本県関係者9名、本県出身者6名の出場で全国人口比では実に全国5位の成績でスポーツ振興に取り組んだ県の姿勢の結果と思う。しかしながら近年の各競技団体への強化費が年々圧縮され、5年前1億5千万円の強化予算が今年なんと4千万円に縮小、結果的に昨年の国体の順位は38位に急降下、東北でも最下位(勿論強化費も東北最下位)になってしまった。1月に新知事(吉村美栄子)が誕生し6月補正予算でドリームキッズ構想が採用、今般の実行委員会の設立となった。山形ドリームキッズの対象は県内全ての小学3・4年生で新体力テストのデータのもとに300名程度に絞り実技や面接で100名を選び最終的には30名のメンバーで日本オリンピック委員会、国立スポーツ科学センター等の協力を得て育成プログラムを作成し、活動を本格的に始動する。海外でも多くの国が国策としてアスリートを見つけ、育て、羽ばたかせている。山形県もスポーツを文化としてとらえ、県民に元気を与えるだけでなく、生きる喜びを共に分かち合える事業として数多くの県民のアスリートが世界で活躍する場面を思い描き、実行委員会の会長として全力を尽くして参りますのでご支援、ご協力宜しくお願い申し上げます。

(現在は東北体育協会連合会長)
(日本タンザニア友好協会会長)